

1.1 コンサルティングの企画 … 診断を通しての課題・対策活動企画と個別対策活動

コンサルティングは、企業や事業部を全体視点から診断・問題顕在化・対策企画を行うものと、個々の問題・課題・期待に対する個別対策系コンサルティングの組み合わせが必要です。

企業において、具体的な対策活動が明確になっていなかったり、組織間をまたがる問題を抱えている場合は、全社を対象にした診断活動から入るほうが良いでしょう。問題を漏れなく顕在化出来るとともに、狙いを明確にして体系的な活動が企画できます。

診断結果を複数の部門の方々と議論、共有化し、活動の必要性、方向性を合わせてから具体的な活動に入ると良いでしょう。これを行わないと活動そのものの必要性の議論になってしまい、活動の入り口で時間を費やし、有効な活動に展開しない恐れがあります。

一方、すでに問題・課題が顕在化している場合は、すぐにその期待に沿った活動企画を立案し展開していくのも良いでしょう。

いずれにしても個々の期待を確認し、活動のプログラムを作り、関係者とコンセンサスを得た上でスタートすべきです。コンサルティング活動は、どの様な考え方でどう進めるかの活動プログラムを明確にして進めることが出来なければ、関係者の力の集結が出来ません。活動に当たって、これらの準備をきちんとするコンサルタントかどうかを、最初に確認しておくことをおすすめします。

